



梅の花の香る街道を“ラストスパート！”

## 満開の梅の木街道を快走！

### 第13回梅の香マラソン大会

昭代地区の春のイベント「第13回梅の香マラソン大会」(昭代公民館主催)が3月5日、JAカントリーエレベーター周辺のコースで開かれました。

大会には、小学1年から一般まで276人が参加。開会式の後、準備体操で体をほぐし、学年毎に男女別でスタート。大会運営は各地区の子ども会役員などが、先導や交差点の交通整理、着順判定などを受け持ちました。参加者は、満開の梅の木街道を息をはずませ走り抜け、沿道からは住民が“あと少しよ！がんばって！”などと温かい声援を送っていました(成績は13ページ)。

## 私たちの健康は私たちの手で

### 食進会のヘルスサポーター21事業

日常生活の中で健康づくりを実践し、自分自身の健康を定着させる「ヘルスサポーター」の養成講座(市食生活改善推進会主催)が2月23日、水の郷で開かれました。食進会の呼びかけで集まった28人が、講師の食進会会員から、肥満予防や減塩についての話を聞いたり、健康体操で軽く汗を流したりして健康づくりについて理解を深めました。調理実習では、鶏肉照り焼きと野菜盛り合わせやほうれん草のごま和えなどを作り試食。終了後は全員に登録証が手渡されました。



音楽に合わせて体を動かす健康体操で、ポツカポカ



小学生と思えない熱い攻防が繰り広げられた

## 鋭いアタックを連発

### 第1回市小学校対抗ソフトバレーボール大会

青少年の健全育成を目的に「柳川市小学校対抗ソフトバレーボール大会」(柳川ライオンズクラブ・高田勝利会長の主催)が3月4日、市民体育館で開かれました。

大会には、市内の9小学校から34チームが参加。4年生以下の部、5年生の部、6年生の部の3クラスで予選リーグ、決勝と熱戦を繰り広げました。

各部の優勝は次のとおりです。4年生以下=柳河モンキーズ、5年生=昭一バボちゃんズ、6年生=柳河小6年男子C



“今後も続けてほしい”と好評だった共用自転車の実験

## 水色の自転車で観光地めぐり

### 共用自転車の社会実験

久留米大学の学生などがつくる「水色の自転車の会」が2月25、26日の2日間、西鉄柳川駅、御花、観光情報センターの3か所で、共用自転車の社会実験を行いました。これは、自転車を無料で貸し出し車の使用を抑え環境を改善するのが目的。各駐輪場で500円を払い、その日の内に自転車とカギをいずれかの駐輪場へ返すと返金されるデポジット制。沖縄県南城市から観光に来た30歳代の男性は「地図を見ながら、2時間くらいで川下りコースもまわりました」と話していました。



着飾った稚児たちを先導に、実物大の「雛飾り」が街中を行進

## みやびな行列で春の訪れ

### おひな様始祭

柳川雛祭り「さげもんめぐり」の本格的な始まりとなる、おひな様始祭が2月26日、行われ日吉神社から商店街周辺を練り歩きました。

日吉太鼓の演奏の後、お内裏様とおひな様、三人官女、五人囃子にふんした一行と、幼児たちによる稚児、「さげもん」をつるした山車が同神社を出発。市内3キロを約1時間かけて周回し、春の訪れを沿道に知らせました。行列には我が子の晴れ姿をビデオなどで撮影しようと保護者などが人垣をつくり、観光客は、突然現れた時代絵巻のような一行に大喜びで、盛んにシャッターを切っていました。

## 工事現場に巨大壁画

### 蒲池の子どもたちが制作

蒲池校区、金納交差点にあるマンション建設の工事現場に、蒲池の子どもたちが描いた絵が展示されました。工事現場が殺風景なため、建設事業者が蒲池中学校を通じて同校美術部に絵画制作を依頼。生徒たち9人は約3か月かけて、縦2m、横7mのテント布に、葛飾北斎の「富嶽三十六景」、ディズニーの「ライオンキング」、ゴーギャンの「アレアレア」の3点を制作しました。いずれもアクリル絵の具で本物そっくりに描かれています。またこの工事現場には、蒲池小学校の子どもたち5人が描いた絵画作品も展示されました。



絵画を制作した蒲池中学校美術部の皆さん

## いくつになっても“雛祭り”

### 還り雛祭り

大人の女性の雛祭り「還り雛祭り」が3月5日、日吉神社(坂本町)で行われました。

「還り雛祭り」は幼いころの雛祭りを、大人になってもう一度祝うことで、自分の健康と家庭円満を願い祈るもの。参加者は神前でお祓いを受けた後、紙を人の型に切り取った「形代」に名前を書き、体の悪いところを念入りにさすり掘割に流していました。境内では桜茶などが振る舞われ、手みやげを受け取った参加者は2度目の雛祭りを楽しみました。



還り雛祭りには夫婦や家族連れなども参加した

